

平成 25 年度 新発田・北蒲家庭科部 活動報告

部長 中村 憲子 (二葉小学校)

1 研究主題 「家庭科における言語活動の充実」

2 活動の概要

○4月 第1回専門部会

・今年度の研究主題、研究内容等について話し合う。

○5月 第2回専門部会

講演 「家庭科における言語活動の充実について」

講師 県立教育センター 教育支援課企画班 指導主事 佐野由美子様

○10月 研究授業

6年「おすすめ 私たちの新発田弁当」

授業者 中野史子教諭 (御免町小学校)

指導者 県立教育センター 教育支援課企画班 指導主事 佐野由美子様

3 研究の実際

○講演「家庭科における言語活動の充実について」

学習指導要領の内容と言語活動の充実とのかかわりを、分かりやすく説明していただき、その後、家庭科における言語活動の充実にかかわる事例を具体的に教えてもらった。そして、家庭科はだれもが興味をもつ教科であることや、生活に結び付いた言葉がたくさん語られる教科であることから、言語活動の充実にはよい教科であるということを各部員で再認識し、授業研へとつなげることができた。

○研究授業 6年「おすすめ 私たちの新発田弁当」

授業は、自分で考えた主菜・副菜案を持ち寄り、グループで「新発田弁当」の主菜・副菜について考えることをねらいとした授業だった。授業は、担任や栄養士からの栄養や旬の食材についての助言も生かしながら、TT形式で授業は進められた。児童が作成したおかずの絵カードや新発田の旬の食材の一覧表などを、みんなで見たり操作したりしながら行ったグループでの話し合いでは、キーワードとなる言葉がさかんに飛び交い、言語活動の充実をねらった授業にふさわしいものだった。

協議会は、話し合いの観点を示した「おいしそうカード」を活用しながらのグループでの話し合いや、栄養士とのTTの在り方等を柱に話し合いが進められた。それらの手立てが、自分たちで考えた主菜・副菜をよりよいものにするために有効であったか、特に「お・い・し・そ・う」に込められた話し合いの観点(言語活動のポイント)の数や、内容の難しさなどについて、活発に意見交換が行われた。

4 成果と課題

講演では、数々の実践事例を参考作品や画像資料を提示していただきながら、家庭科で使用する言葉を、実感を伴って理解させるということがどういうことかについて、学ぶことができた。

研究授業では、言語活動を充実させるためには、話し合いのポイントやキーワードをワークシートや掲示等で明示することが有効であることが分かった。また、示された言葉の中からどの言葉に焦点を当て意識させるかということについては、これからも大切に考えていくべき課題であることを確認した。

今後も、家庭生活をよりよくしていこうとする実践的な態度を育てるために、言語活動の充実を図りながら、生活に深く結び付いた実践について研修する必要がある。